

# 対局相手は日本将棋連盟会長

子どもたちと対局する佐藤九段



市内の小学生から花束を受け取る佐藤九段

## 八幡市出身・佐藤康光九段

この大会は、佐藤九段が平成10年に第56期名人位を獲得したことを記念し、翌11年から毎年開催されています。開会式で佐藤九段は「このたび日本将棋連盟の会長に就任いたしました。さまざまな問題がありました。将棋界の発展のために、一歩一歩邁進していきたいと思っております」とあいさつ。また、佐藤九段の紫綬褒章の受章を記念して、日本将棋連盟京都府支部連合会と錦旗会支部から記念品が贈呈されました。大会は、段位や年齢で5

クラスに分かれ、4人1組による予選からの決勝トーナメント方式で実施。また、小学生以下の初心者12人を相手に、佐藤九段による多面指導も行われるなど、参加者たちは普段培った実力を盤上で披露していました。

八幡市出身のプロ棋士、佐藤康光九段を迎えた「八幡市市制施行40周年記念第19回佐藤康光杯争奪将棋大会」が6月18日、文化センター小ホールで行われ、市内外から255人が参加しました。



佐藤九段と対局した堺市在住の木村橙哉くん(7)は「佐藤九段は、指し回しがうまくて、強かったです。将来は僕もプロ棋士になりたいです」と話していました。

## 自転車事故 見て学ぶ

### スタントマンが再現

スタントマンが交通事故を再現する自転車交通安全教室が6月10日、男山第二中学校で行われ、全校生徒約420人が自転車に起こる危険を目で見て学びました。

この教室は、交通事故の疑似体験からその怖さを実感してもらうことで、自転車運転の危険性を学び、交通安全の意識を高めてもらおうと、JA共済連京都が京都府警察本部と連携して実施しています。

会場となる運動場で、コースタントチーム「スーパードライ

パーズ」のスタントマンが、横断歩道で左折してくる車との事故などを再現。自転車に乗ったスタントマンが車に追突され、大きく飛ばされると、生徒たちは驚きの表情を見せるなど、その怖さを実感していました。

生活委員長の木下詠斗さん(14)は「事故の再現は、思っていたよりも激しくて、実際に起こったら怖いと思いました。これからは、より交通ルールを意識していきたいです」と交通安全への気持ちを新たにしました。



生徒たちの前で自転車交通事故を再現するスタントマン

## まちの話題

「このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。」

ガイドから説明を受けながら旧街道を歩く参加者たち



## 地域の歴史再発見

### 名所や旧跡 歩いて巡る

名所や旧跡を巡る「やわた再発見」男山(はちまんさん)一周歴史ウォークが6月3日、観光案内所など5カ所を発着点に開催され、市内外から約130人が参加しました。

このイベントは、新たな地域の歴史を発見してもらおうと、市が制定した「八幡市ウォーキングの日」(毎月第一土曜日)と連携し、観光協会とやわた観光ガイド協会が主催しました。参加者たちは、ガイドの説明を受けながら約8kmのコースを一周。世界で初めて飛行原理を発見した二宮忠八が飛行器作りを助けた工作所跡や、石清水八幡宮門前町の面影を残す東高野街道など、さまざまな名所を巡り、新たな市の歴史に触れていました。

往西晃希さん(20)は「歩いてみると、街並みの雰囲気特徴的で、より歴史的背景があると感じました。今回まわったところ以外にも、興味を広げてみたいですね」と話していました。

## 仲間と一緒に踏みだそう

### 元Jリーガーが先生 夢の教室

子どもたちに夢を持つことや、仲間たちと協力することの大切さを伝える「夢の教室」が6月19日、八幡小学校の5年生を対象に行われました。

この教室は日本サッカー協会の主催で、スポーツ選手らが「夢先生」として授業を実施。同校には、元Jリーガーの小針清充さん、野田恭平さんが訪れました。

体育館では、仲間と協力することの大切さを学ぶ実技を実施。「指定された色のピブスと人数でチームを組んで、時間内にゴールする」な

どの課題が与えられ、児童たちはみんなで作戦を考え、協力して課題をクリアしていました。

教室では、夢先生が自身の経験を通して夢の大切さを伝える講義を実施。小学6年生の時にJリーグが開幕し、プロサッカー選手が夢になった野田さん。「毎朝30分ランニングする」など、自分との小さな約束を守り続けて夢を叶えた経験から、「小さな一歩から踏み出すことが大事です。夢中になれるものを一生懸命がんばってください」とエールを送っていました。



小針さんと作戦会議をする児童たち